

松戸市男女共同参画プラン第5次実施計画の進捗及び評価

活動目標

めざすまち I 女性も男性も支えあえるまち

指標及びH28年度現状値	R4年度目標値	R4年度の取り組み内容及び実績値	評価（担当課）	今後の取り組み
保育所等の待機児童数 0人	0人	<ul style="list-style-type: none"> 0歳から2歳の児童に向けて、保育需要の高い地域を中心に小規模保育施設を整備した。 3歳以上の児童に対しては、幼稚園の預かり保育を充実・拡充することで、小規模保育施設の卒園児を受け入れる体制を強化した。 令和元年度に新設された幼児教育課と密な連携をとり、3歳以上の待機児童解消に努めた。 <p>0人 (→)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 今年度も目標値の達成に向けた取り組みをきちんと遂行し、達成することができた。次年度以降も引き続き達成できるように努めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園と小規模保育施設の連携を促進する。 関係各所と連携し新卒保育士の確保や離職防止について取り組む。 地域別の保育需要を更に分析し、効果的な小規模保育施設の整備をはかる。
放課後児童クラブの待機児童数 0人	0人	<ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブの施設確保 馬橋放課後児童クラブ分室を新規設置 殿平賀放課後児童クラブ分室を新規設置 中部放課後児童クラブ分室を新規設置 放課後児童クラブの主な修繕 東部放課後児童クラブ他1か所外灯修繕 <p>0人 (→)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目標値0人に対し、実績値0人であり、目標値を達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者増加に対する、施設の確保。施設の確保に向けて、関係機関との協議・調整 放課後児童クラブ実施施設の修繕。クラブ施設の老朽化に伴う施設の修繕
地域子育て支援拠点事業 21ヶ所	27ヶ所	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持・確保に向けて、関係機関との協議・調整を実施した。 令和4年5月に「ほっとるーむプラレ松戸」を開設した。 <p>28ヶ所 (↗)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目標値27ヶ所に対し、実績値28ヶ所であり目標値は達成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持・確保に向けて、関係機関との協議・調整を継続して実施する。 地域子育て支援拠点の情報を発信し、利用者の増加を図る。 <p>※令和2年度から5年間を計画期間とする第2期松戸市子ども総合計画ではR4年度の目標は29ヶ所に設定。</p>
女性の就労割合 69.4%	75%	<ul style="list-style-type: none"> 再就職や両立（家庭・子育て・介護）など、働きたい女性の悩みに対してキャリアコンサルタントがアドバイスを行う「まつど女性就労・両立支援相談」について、近年結婚や出産後も就業を継続する女性が増えているため、R3年度から新たに夜間相談を実施し、女性の就労継続の支援にも力を注いでいる。 R4年度 延相談者数 347人 就労者数 50人 R3年度 延相談者数 372人 就労者数 71人 <p>(R4年度は市民意識調査を実施していないため実績値を把握していない)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「松戸市総合計画後期基本計画進行管理のための市民意識調査」の値を指標値としているが、直近(R2年度)では73.0%となっている。 この指標については、国勢調査などと併せて見ていく必要があるが、国勢調査に基づく松戸市の「就業状態等基本集計(15~64歳)」でも、H27年度65.12%からR2年度は71.9%と上昇しており、R4年度も国(72.4%)と同様、70%代で推移しているものと思慮される。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の相談回数は減ったものの、夜間相談や起業相談は増えている。やはり全体の相談回数が増えなければ、実際の就労につながらないため、今後も相談機会の拡大やハローワークと連携した情報提供を行いながら、就労率の向上を目指す。

めざすまち I 女性も男性も支えあえるまち (つづき)

指標及びH28年度現状値	R4年度目標値	R4年度の取り組み内容及び実績値	評価 (担当課)	今後の取り組み
「男女共同参画社会」という用語の周知度 女性 69.3%、男性 75.5%	100%	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画社会の実現に向けて広く市民の理解を深めることを目的に、毎年6月に開催する「男女共同参画週間記念講演会」や、女性の人権問題や男女共同参画への理解を深めジェンダーに敏感な市民を増やすことを目的とする「ゆうまつどフェスタ」基調講演については、YouTubeによるオンデマンド配信を併用し参加者の増に努めた。 <p>(R3年度市民意識調査で質問項目を見直したため実績値を把握していない)</p>	<ul style="list-style-type: none"> R3年度の市民意識調査では調査項目の見直しを図ったため、実績値を把握できないが、同調査の「男女共同参画推進の関心度」では、H28年度の51.1%からR3年度は56.2%と5.1ポイント増加しており、男女共同参画に対する意識は高まりつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画週間記念講演会、ゆうまつどフェスタの他、女性活躍推進講座、男性の育児支援を目的とした講座等の開催や、情報紙の発行、情報コーナーにおける男女共同参画関連図書・資料の閲覧、X (旧 Twitter) のほか、「子育て情報 LINE」等も活用し、積極的に情報を発信する。
審議会等委員の女性の割合 27.9%	40%	<ul style="list-style-type: none"> 審議会等における女性委員の登用については「松戸市附属機関等の設置及び運営に関する指針」に明記されており、選任候補者の選任にあたってはこの指針に基づき、慎重に選定するよう関係課から周知を図った。 <p>24.8% (↘)</p>	<ul style="list-style-type: none"> R4年度も候補者の選任にあたっては指針に基づき、慎重に行うよう関係課から周知を行っているが、審議会等の新設・改廃や当て職等理由により、残念ながら女性の割合は毎年約1ポイント低下している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も指針に基づき、目標値の達成に向けて、機会あるごとに働きかけを行うとともに、政策・方針決定過程への女性の参画が進むよう、その重要性について、職員や市民への周知・啓発を積極的に行う。
防災会議委員の女性の割合 20.9%	30%	<ul style="list-style-type: none"> 防災会議委員の推薦について問い合わせがあった際には女性の委員の推薦を依頼した。 <p>18.6% (↘)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防災会議委員は主に各機関の長が推薦されるため、各機関の男女共同参画社会への意識を変え、女性を長にしなければならない。そのため、女性の委員の増加は困難だと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災会議委員の推薦について問い合わせがある場合は女性の委員の推薦を推奨していく。
自治会長に占める女性の割合 -% (把握していない)	10%	<ul style="list-style-type: none"> 地域からの相談対応や各種補助金の交付、会員加入促進策 (加入促進キャンペーン) 等を通して、町会・自治会活動への参加促進及び地域での交流活性化を支援した。 <p>7.8%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大により、町会・自治会活動が長期間停滞を余儀なくされたため、イベント開催がない等で活動の実態が伝わらず、町会・自治会への新規加入が伸び悩んでいる。それに伴い、町会運営に携わる人材の高齢化や固定化が進んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「町会・自治会等活動の手引き」にて、町会運営への多様な人材育成・参画を記載し、意識啓発を図る。 幅広い世代が町会・自治会活動に参加するよう、加入促進施策に取り組む。

めざすまちⅠ 女性も男性も支えあえるまち（つづき）

指標及びH28年度現状値	R4年度目標値	R4年度の取り組み内容及び実績値	評価（担当課）	今後の取り組み
農業委員および農地利用最適化推進委員に占める女性の人数 1人	2人	<ul style="list-style-type: none"> 農業委員、農地利用最適化推進委員の任期満了に伴う委員候補者募集にあたり、女性農業者の立候補者数増に繋がるよう情報提供を行った。 7～8月に地区説明会（市内6カ所）、10月に「まつど農委だより」を発行、また松戸市ホームページ、広報まつどにおいても情報提供を行った。 <p style="text-align: center;">1人（→）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農政課と協力し、女性農業者や関係機関に対して情報提供を引き続き行う。また、現委員を通じて、顔見知りの女性農業者に対し、働きかけ等を引き続き行う。 <p>※次期改選：令和5年7月</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次期改選のため令和4年10月3日から31日まで、農業委員・農地利用最適化推進委員の募集を行い、そのうち女性2名の農業委員の応募があり、令和5年3月定例会において議会の同意を得た。 <p>（任期：令和5年7月20日～令和8年7月19日）</p>

めざすまちⅡ いろいろな家族のかたちを尊重するまち

指標及びH28年度現状値	R4年度目標値	R4年度の取り組み内容及び実績値	評価（担当課）	今後の取り組み
子宮頸がん検診受診率 31.6%	50%	<ul style="list-style-type: none"> 松戸市内の4大学の学生へ子宮頸がん検診の受診勧奨を実施した。 子育て世代の受診率の向上のために、集団検診時の子どもの一時預かり（ママサポート）を再開した。 <p style="text-align: center;">28.5%（↘）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による受診控えが続き、前年度から受診率は微減し、目標値には未だ達していない。集団検診時の子どもの一時預かり（ママサポート）は毎回利用があり、利用希望者の受け皿を整えることはできた。引き続き、検診を継続して受診することの大切さを広く周知していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度から個別検診における検査方法を従来法から液状検体法に変更することで、より精度の高い検査体制を提供し、検診の質の向上を図る。新しい検査方法の導入と検診の重要性を広く周知することで、受診率の向上を目指す。 webけんしん予約システムの導入により、予約方法を簡略化させ、受診しやすい環境を整える。
乳がん検診受診率 40.5%	50%	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、仕事や家事などで平日に受診できない方のために、土曜日に集団検診を実施して、受診しやすい環境の整備を図った。 子育て世代の受診率向上のために、集団検診時の子どもの一時預かり（ママサポート）を再開した。 <p style="text-align: center;">47.4%（↗）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による受診控えが続き、前年度からの受診率は微減したが、目標値には近づきつつある。土曜日の集団検診受診者や子どもの一時預かり（ママサポート）は毎回利用があり、利用希望者の受け皿を整えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 前年度に引き続き、土曜日の集団検診の実施を継続する。 子どもの一時預かり（ママサポート）利用希望者は、若年層が対象であるエコ検診日に多いことから、当検診時のママサポート実施日数を増加させる。 webけんしん予約システムの導入により、予約方法を簡略化させ、受診しやすい環境を整える。

めざすまちⅢ 女性も男性も地域でつながりあうまち

指標及びH28年度現状値	R4年度目標値	R4年度の取り組み内容及び実績値	評価（担当課）	今後の取り組み
消防団員の女性の人数 14人	30人	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員募集ポスターによる広報活動を実施。 消防局HP・広報まつどによる音楽隊員募集の広報活動を実施。 38人（↑）	<ul style="list-style-type: none"> 目標値として定めた数値は達成しているが、今後も引き続き広報活動を実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の女性が育児等で社会参画の機会から離れていることから、消防団員として災害時に地域に貢献することだけでなく、音楽隊員として社会参画する機会があるということをアピールしていきたい。
市内で活動するNPO法人数 156団体	160団体	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動助成制度及び協働事業提案制度により事業に必要な資金を助成した。 また、まつど市民活動サポートセンターでNPO法人に対するサポートや相談受付、講座を実施した。 143団体（↘）	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動助成制度及び協働事業提案制度を実施した。 まつど市民活動サポートセンターにおいて、相談受付・講座を実施したが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりNPO法人の活動は大きく制限されたため、活動の活性化は難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動助成制度及び協働事業提案制度の実施を継続し、制度の活用を促進するための積極的な周知活動を行う。 まつど市民活動サポートセンターにおけるNPO法人に対する支援について、より幅広い種類の講座開催等を検討し、NPO法人が活動を行いやすい環境づくりに努める。

計画の推進体制

指標及びH28年度現状値	R4年度目標値	R4年度の取り組み内容及び実績値	評価（担当課）	今後の取り組み
市役所男性職員の育児休業取得率 5.1%	13%	・男性職員に対する制度の周知徹底 ・取得しやすい職場風土の醸成 31.5% (↑)	・取り組みの徹底により目標値を大幅に上回ることができた。	・男性職員に対して制度の周知徹底をさらに積極的に行う。 ・取得しやすい職場風土の醸成のために研修等を行う。
管理職（本庁課長相当職以上）に占める女性の割合 15.4%	15%以上	・女性職員の総務・財務・企画・議会担当等、多様なポストへの積極的な配置 22.2% (↑)	・取り組みにより目標値を達成できた。	・引き続き、女性職員の登用を積極的に図る。 ・管理職への登用を視野に入れ、多様な知識と経験を身に付けることができる部門への配置を行う。
消防吏員の女性の割合 4.0%	5%以上	・採用試験の女性受験者の拡大に向けた積極的な広報活動 4.2% (↑)	・毎年度、女性の消防吏員の採用に努めているが、消防局全体の受験者数に占める女性の割合が低いため、目標値に達していない。今後も女性受験者の確保のため、積極的な採用活動を行っていく。	・採用試験の女性受験者の拡大に向けてさらに積極的な広報活動を行う。 ・女性向け説明会の開催等を検討していく。